

建築物の名称	
建築物の所在地	
設計者等の氏名	
審査員氏名	

※印の欄は設計者の記入欄です。

認定事項	確認項目※	設 計 内 容 説 明 欄 ※		記載図書※	設計内容 確認欄
		項目	設計内容		
0. 基本事項	基本事項	地域の区分	・地域区分 () 地域	☐ 案内図等 ☐ 平面図 ☐ 計算書	
		年間日射地域区分	() 地域 注) 下記設備のいずれかを設置した場合のみ ☐ 太陽光発電を採用 ☐ 太陽給湯設備を採用		
		建て方	☐ 一戸建ての住宅 ☐ 共同住宅等		
		構造	☐ 木造住宅 (☐ 軸組構法 ☐ 枠組工法) ☐ 鉄骨造住宅 ☐ 鉄筋コンクリート造 (組石造含む。) 住宅 ☐ その他 ()		
1. 躯体の外皮性能等	躯体の外皮性能等に係る記事事項	用いた計算方法	☐ 非住宅・住宅計算法 ☐ 誘導仕様基準	☐ 面積表 ☐ 平面図 ☐ 立面図 ☐ 矩計図 ☐ 計算書	
		住宅・非住宅計算法	平均熱貫流率 基準値 (計算書による) $[\text{W}/\text{m}^2\text{K}]$ 設計値 (計算書による) $[\text{W}/\text{m}^2\text{K}]$ 平均日射熱取得率 基準値 (計算書による) $[-]$ 設計値 (計算書による) $[-]$		
	誘導仕様基準	外皮の断熱性能等	☐ 外皮の熱貫流率の基準に適合 ☐ 断熱材の熱抵抗の基準に適合 ☐ 構造熱橋部の基準に適合 (鉄筋コンクリート造等のみ)		
		開口部の断熱性能等	☐ 開口部の断熱性能等に関する基準に適合 ☐ 開口部の日射遮蔽性能に関する基準に適合		
		緩和措置	☐ 外気に接する床 (5%緩和) ☐ 窓の断熱 (2%緩和) ☐ 窓の日射 (4%緩和)		
		認定書等	認定書等活用 ☐ 型式認定番号 () ☐ 製造者認証番号 ()		
	一次エネルギー消費量に係る基本事項	用いた計算方法	☐ 非住宅・住宅計算法 ☐ 誘導仕様基準		
		住宅・非住宅計算法	基準値 (Webプログラム出力表による) $\text{GJ}/(\text{戸}\cdot\text{年})$ 設計値 (Webプログラム出力表による) $\text{GJ}/(\text{戸}\cdot\text{年})$ 外皮 ☐ (Webプログラム出力表による)		
	誘導仕様基準	居室等の面積・構成	☐ (Webプログラム出力表による)		
		設備機器等の仕様	☐ (Webプログラム出力表による)		
		暖房設備	・暖房方法 () ・暖房機器の仕様等 ()		
		冷房設備	・冷房方法 () ・冷房機器の仕様等 ()		
		換気設備	・熱交換換気設備の有無 ☐ 有 ☐ 無 ・換気設備の仕様等 ()		
		照明設備	☐ 全ての照明設備がLED又は同等以上		
2. 一次エネルギー消費量	給湯設備		☐ 給湯熱源機の種類等 () ・所定の省エネ対策の実施 ☐ ヘッダー方式 分岐後配管径13A以下 ☐ 浴室シャワーの節湯水栓等の使用 ☐ 高断熱浴槽の採用	☐ 面積表 ☐ 平面図 ☐ 立面図 ☐ 矩計図 ☐ 計算書	

認定事項	確認項目※	設 計 内 容 説 明 欄 ※		記載図書※	設計内容 確認欄
		項目	設計内容		
3. その他の措置 (第1又は第2のいずれかに適合)	第1の1	再生可能エネルギー利用設備の設置	☐ 太陽光発電設備 ・ 一戸建て住宅の場合は以下に適合 ☐ 低炭素化促進設計一次エネルギー消費量が低炭素化促進基準一次エネルギー消費量を超えないこと。 ☐ 風力・水力・バイオマス等の発電設備 ☐ 太陽光・地中熱利用設備 ☐ 河川水熱等を利用する設備 ☐ 薪・ペレットストーブ等の熱利用	☐ 設備機器表 ☐ 平面図 ☐ 立面図 ☐	
	第 1 の2 (右記項目のうち1項目以上適合)	節水に関する取組	☐ 節水便器の設置(半数以上) ☐ 節水水栓の設置(半数以上) ☐ 食器用洗浄機の設置	☐ 仕様書 ☐ 仕上表 ☐ 配置図 ☐ 平面図 ☐ 立面図 ☐ 計算書 ☐ 評価書 ☐ 製品カタログ ☐	
		雨水等の利用設備の設置	☐ 雨水利用設備の設置 ☐ 井水利用設備の設置 ☐ 雑排水利用設備の設置		
		エネルギーマネジメントの取組	☐ HEMS の設置		
		蓄電池使用	☐ 再生可能エネルギー利用設備及び定置型蓄電池の設置		
		ヒートアイランド対策	・ 敷地緑化等 ☐ 敷地又は水面等の面積が敷地面積の10%以上 ・ 敷地の高反射性舗装の使用 ☐ 日射反射率の高い塗装の面積が敷地面積の10%以上 ・ 屋上緑化等 ☐ 緑化を行う又は日射反射率等の高い屋根材を使用する面積が屋根面積の20%以上 ・ 壁面緑化等 ☐ 壁面緑化を行う面積が外壁面積の10%以上 ☐ 敷地緑化等面積率+敷地の高反射舗装面積率+屋上緑化等面積率×1/2+壁面緑化等面積率≧10%		
		劣化対策	☐ 住宅の品質確保の促進等に関する法律に基づく住宅性能評価基準劣化対策等級3以上		
		木造住宅・建築物	・ 木材の利用 ☐ 木造住宅 ☐ 木造建築物		
		高炉セメント等の利用	☐ 高炉セメント又はフライアッシュセメントを構造耐力上主要な部分に使用している ☐ 高炉セメントの使用 ☐ フライアッシュセメントの使用		
		電気自動車充放電設備の設置	☐ 電気自動車等と建築物間で充放電等するための設備を設置 ・ 設置台数等 ()		
	第 2	所管行政が認めるもの	☐ ()		
4. 基本的方針	都市の緑地の保全への配慮	☐ 都市緑地法に定める「緑地保全地域」に適合 ☐ 都市緑地法に定める「特別緑地保全地域」に適合 ☐ 都市緑地法に定める「緑化地域」に適合 ☐ 都市緑地法に定める「緑地協定」に適合 ☐ 生産緑地法に定める「生産緑地地区」に適合 ☐ 建築基準法に定める「建築協定」に適合 ☐ 緑地保全に関する市町村の条例に適合 ☐ 該当なし	☐ 証明書 ☐ 適合書 ☐ 許可書 ☐ 届出書 ☐ 確認印 ☐ 調査票 ☐		
		☐ 都市計画法に定める都市施設である緑地外			
5. 資金計画	新築等に係る資金計画	☐ 建築に関する費用の設定	☐ 申請書		